

研究課題番号	4RF-2102
研究課題名	野生動物への環境汚染物質の影響評価を実現する培養細胞を用いた新規評価技術の構築
研究実施期間	令和3年度～令和5年度
研究機関名	国立環境研究所
研究代表者名	片山 雅史

1. 委員の指摘及び提言概要

評価基盤細胞であるアオウミガメなどの不死化細胞が樹立され、齧歯類への暴露実験が実施されるなど、細胞レベル・個体レベルでの汎用性の高い化学物質影響評価法の確立は意義が大きく、これまでの研究成果は高く評価できる。細胞レベルと個体レベルの殺鼠剤に対する感受性の差、培養細胞での殺鼠剤への耐性獲得の有無、自然界での暴露経路や濃度などの点についても検討されることを期待する。将来的に、培養細胞樹立の困難なオガサワラノスリなどの小笠原の他の希少種についての研究の進展が期待される。

2. 採点結果

評価ランク：S